

PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし)

追加型投信／内外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、投資信託証券を通じて、世界の様々な債券（デリバティブを含む）などに市場動向などを踏まえ機動的に投資を行うことで、安定的な収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年5月13日～2025年11月10日

第5期	決算日：2025年11月10日	
第5期末 (2025年11月10日)	基準価額	12,811円
	純資産総額	28,569百万円
第5期	騰落率	12.5%
	分配金合計	100円

(注1) 謄落率は分配金再投資基準価額の謄落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

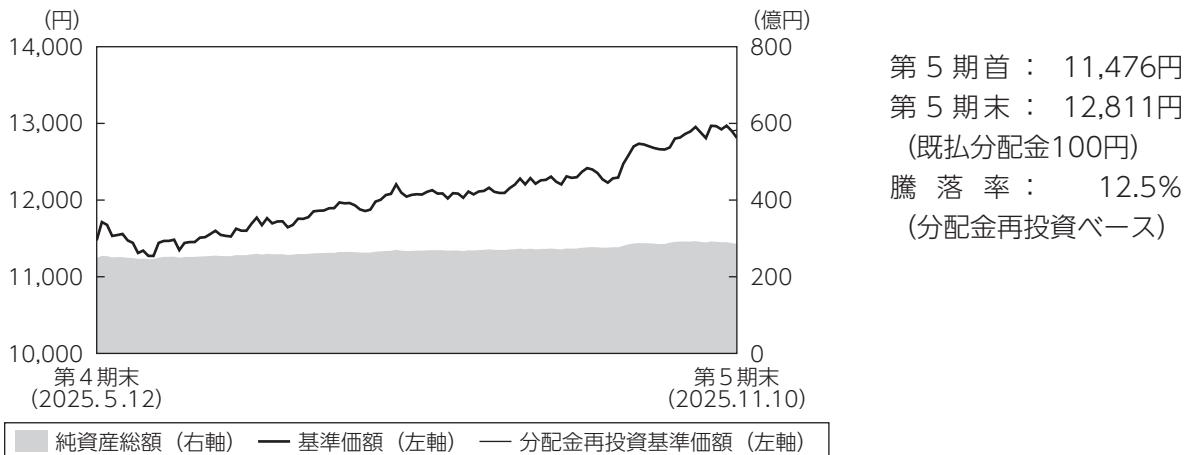
お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

パミューダ籍外国投資信託「ピムコ・パミューダ・インカム・ファンドA クラスSS(USD)」
(以下「インカム・ファンド」ということがあります。) 円建受益証券への投資を通じて、世界で発行されているさまざまな債券などに実質的に投資を行った結果、基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。米ドルが対円で上昇したことやインカム収入、金利が低下したことなどが上昇要因となり上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
ピムコ・パミューダ・インカム・ファンドA クラスSS(USD)	13.4%
DIAMマネーマザーファンド	0.2%

(注) ピムコ・パミューダ・インカム・ファンドA クラスSS(USD)の騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

1万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要	
	(2025年5月13日 ～2025年11月10日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	111円 (63) (46) (2)	0.921% (0.521) (0.384) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,058円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	111	0.923		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

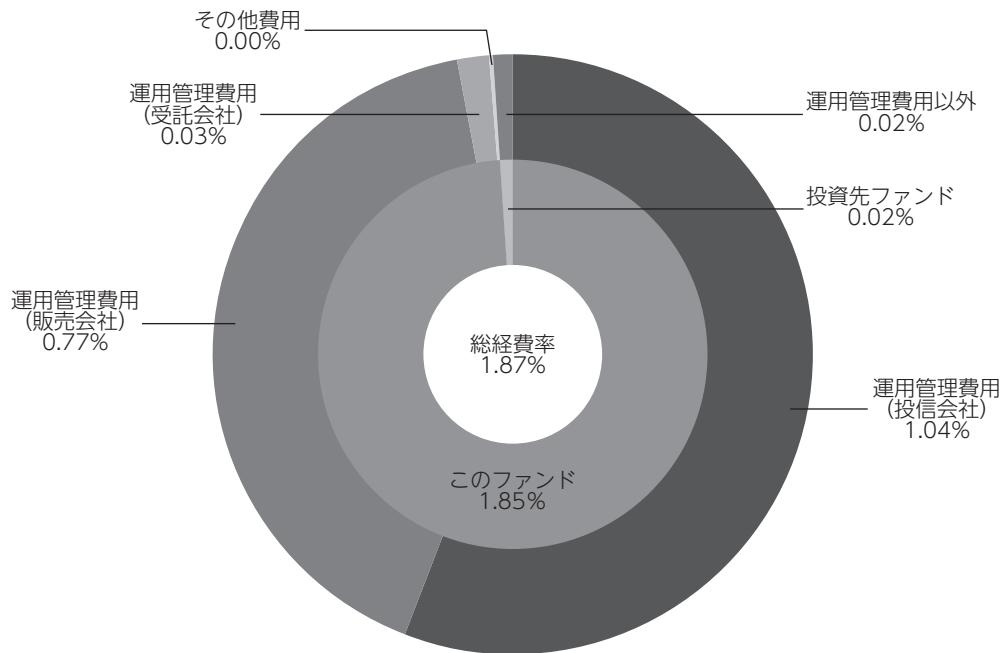
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率（①+②+③）	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.85%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

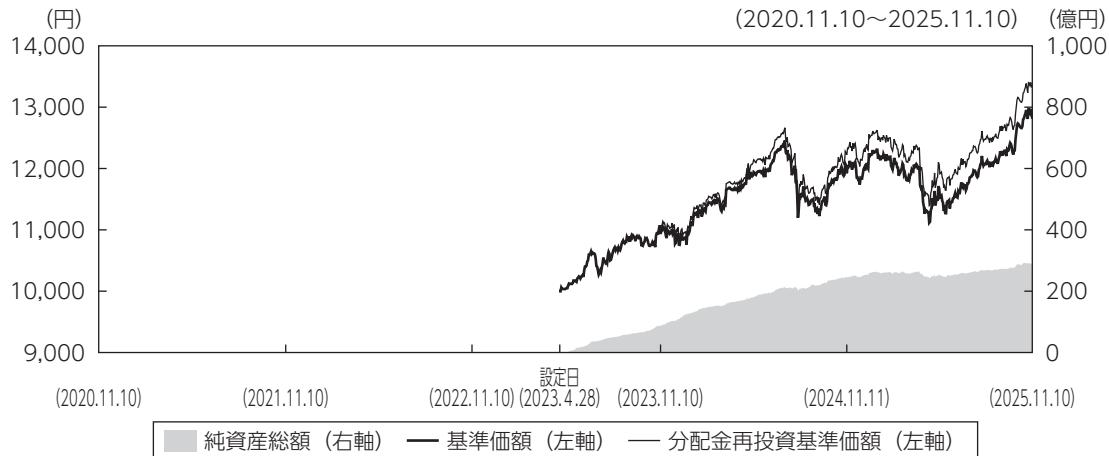
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用および「ピムコ・パミューダ・インカム・ファンドA クラスS S (U S D)」（以下「インカム・ファンド」という場合があります。）への投資の指図に関する権限の委託を受けた投資顧問会社（ピムコジャパンリミテッド）に対する報酬（当ファンドの信託財産の純資産総額に対して年率0.6%（税抜））が含まれます。

（注6）②の費用には、直接の投資運用会社報酬などはありません。

（注7）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

（注8）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2023年4月28日 設定日	2023年11月10日 決算日	2024年11月11日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額（分配落） (円)	10,000	10,933	11,922	12,811
期間分配金合計（税引前） (円)	—	90	200	190
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	10.2	10.9	9.1
純資産総額 (百万円)	1	8,738	24,373	28,569

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

投資環境

米国国債利回りは低下（価格は上昇）しました。期初は米関税政策の不確実性が意識されたことや物価指標の下振れなどを背景に低下しましたが、2025年7月に入り、減税恒久化を含む大型減税法案の成立を受け、財政悪化懸念が意識されることなどから上昇（価格は下落）しました。期末にかけては、軟調な雇用統計の結果などを背景に利下げ期待が高まったことから再び低下し、期を通じては低下しました。

ドイツ国債利回りは上昇しました。期初は方向感なく推移ましたが、6月中旬以降は、 ECB（欧洲中央銀行）総裁が声明で金融緩和策の停止を示唆したことなどから上昇しました。期末にかけては、米国国債利回りの低下に追随して低下し、上昇幅を一部縮小しました。

国内短期金融市场では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

米ドルは対円で上昇しました。期初は下落する場面もありましたが、2025年6月に入り、底堅い米雇用統計の発表などを受け上昇しました。7月以降は、軟調な米雇用統計の発表や FRB（米連邦準備理事会）議長が利下げの可能性を示唆したことなどから軟調に推移しましたが、期末にかけては日銀による早期利上げ観測の後退などから上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

インカム・ファンドを通じて「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド（M）」（以下「インカム・ファンド（M）」）米ドル建受益証券を実質的に高位に組入れました。また、DIA Mマネーマザーファンドの組入れを継続しました。

●ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスS S（USD）

当ファンドは世界で発行されているさまざまな債券などに実質的に投資し、あらゆる市場局面において最適な資産配分を追求することで安定的な収益確保をめざしました。金利戦略では市場環境に応じ機動的に金利リスクを調整しました。セクター（債券種別）戦略では、モーゲージ証券（非政府系）など相対的に魅力的な利回りを有する資産へ投資したほか、リスクオフ時にも安定した値動きが期待される債券に投資しました。

●DIA Mマネーマザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年5月13日 ～2025年11月10日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.77%
当期の収益	100円
当期の収益以外	-円
翌期繰越分配対象額	2,811円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切り捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

さまざまな債券市場や為替市場および資金動向などを考慮しながら、安定した収益の確保をめざし、インカム・ファンドを通じてインカム・ファンド（M）を実質的に高位に組入れる方針です。また、国内短期金融市場や資金動向に留意しつつ、DIA MAMマネーマザーファンドの組入れを継続します。

●ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS（USD）

足許は、2025年の世界経済は景気後退に陥る可能性は低いものの、関税の影響が本格化することに伴い成長率が減速すると見ています。一方、インフラ投資や財政出動などにより、2026年には成長率がトレンド並みの水準に戻ると予想しています。こうした中、投資においては引き続き慎重なリスク管理が必要と考えています。

今後の運用戦略についてはマクロ経済見通しをもとにリスクの調整を意識しつつ、高い利回りの資産への投資とポートフォリオを安定化させる低リスク資産への投資とのバランスを市場動向を見据えつつ柔軟に調整していく方針です。

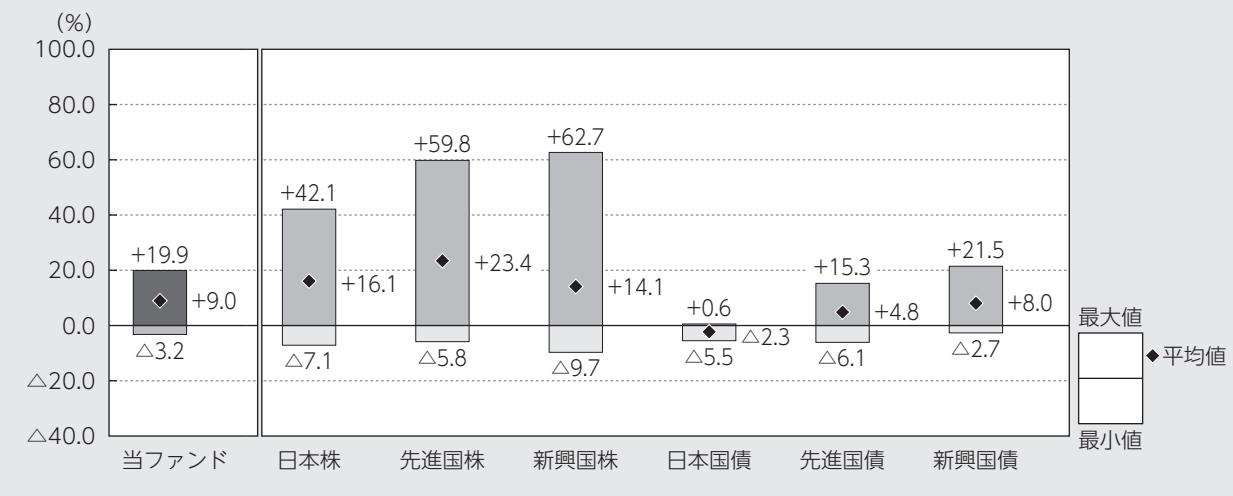
●DIA MAMマネーマザーファンド

日銀は2025年10月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用をめざします。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券		
信託期間	2023年4月28日から2033年5月10日までです。		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。		
主要投資対象	当ファンド		投資信託証券
	投資信託証券	ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD) DIA Mマネーマザーファンド	ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M) 世界のさまざまな債券など 国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産
運用方法	各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、インカム・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。インカム・ファンドへの投資にかかる指図権限を、ピムコジャパンリミテッドに委託します。		
分配方針	毎決算時（毎年5月および11月の各10日（休業日の場合は翌営業日））に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。		

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2024年4月～2025年10月

代表的な資産クラス : 2020年11月～2025年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファン
ドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指標

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BP国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

(注) 海外の指標は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指標については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年11月10日現在）

◆組入ファンド等

(組入ファンド数：2ファンド)

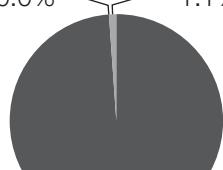
	当期末
	2025年11月10日
ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスS S (USD)	98.9%
DIAMマネーマザーファンド	0.0
その他	1.1

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

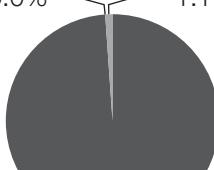
親投資信託受益証券	0.0%	その他	1.1%
-----------	------	-----	------



外国投資信託受益証券
98.9%

◆国別配分

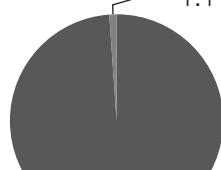
日本	0.0%	その他	1.1%
----	------	-----	------



バミューダ
98.9%

◆通貨別配分

その他	1.1%
-----	------



日本・円
98.9%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

(注3) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

純資産等

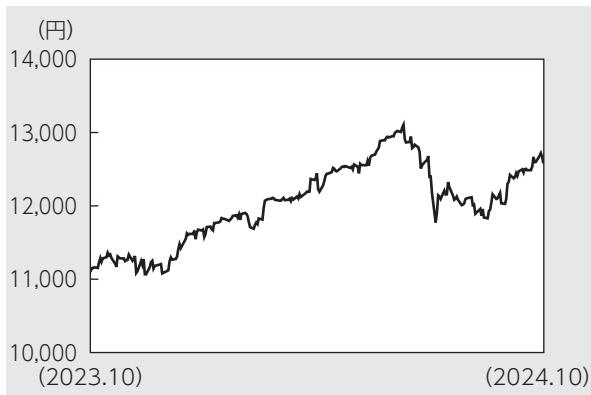
項目	当期末
	2025年11月10日
純資産総額	28,569,382,211円
受益権総口数	22,299,809,018口
1万口当たり基準価額	12,811円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,788,115,944円、同解約元本額は2,190,713,402円です。

組入ファンドの概要

[ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)] (計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日)

◆基準価額の推移



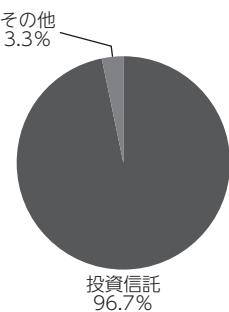
◆組入ファンド等 (組入ファンド数: 1 ファンド)

	当期末
	2024年10月31日
ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M)	96.7%
その他	3.3

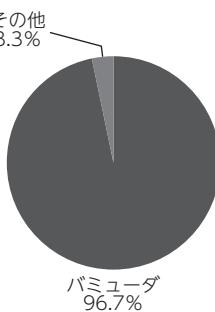
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

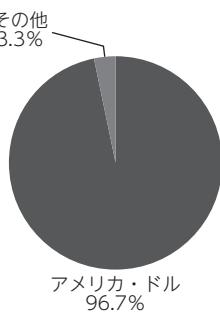
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD) の計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入ファンド等、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドAの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 比率はピムコ・バミューダ・インカム・ファンドAの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA クラスSS (USD)」は、「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンドA」を構成する個別クラスであり、「ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M)」に投資しております。

(注6) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<ご参考>

[ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M)] (計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日)

◆基準価額の推移

開示されていないため、掲載しておりません。

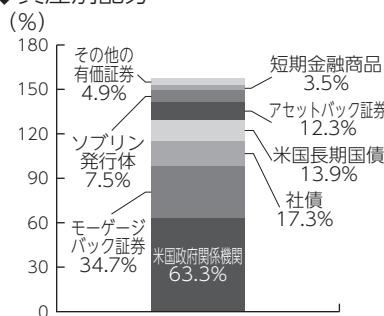
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
Ginnie Mae, TBA (e) 4.000% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	7.5%
Ginnie Mae, TBA (e) 5.000% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	7.2%
Ginnie Mae, TBA (e) 4.500% due 12/01/2041	アメリカ・ドル	6.2%
Ginnie Mae, TBA (e) 5.500% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	4.9%
Ginnie Mae, TBA (e) 4.000% due 11/01/2054	アメリカ・ドル	4.7%
Ginnie Mae, TBA (e) 3.500% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	4.4%
Ginnie Mae, TBA (e) 3.000% due 12/01/2042	アメリカ・ドル	3.9%
Fannie Mae, TBA (e) 5.500% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	2.6%
Ginnie Mae 4.500% due 09/20/2053	アメリカ・ドル	2.4%
Fannie Mae, TBA (e) 3.500% due 12/01/2054	アメリカ・ドル	2.3%
組入銘柄数		1,447銘柄

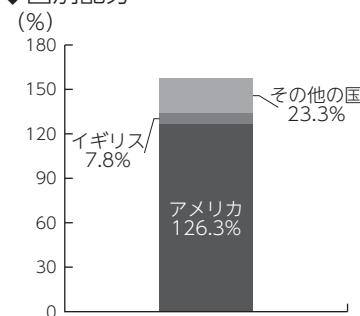
◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

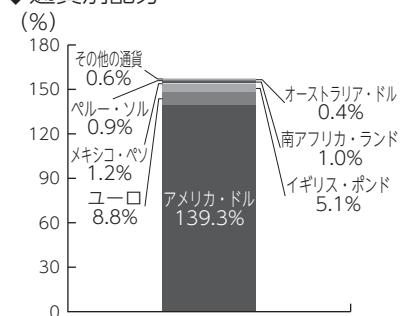
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、ピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M) の決算日現在の状況を表示しております。

(注2) 組入上位10銘柄の(e)は下記のとおりです。

(e)発行時決済証券です。

(注3) 比率はピムコ・バミューダ・インカム・ファンド (M) の純資産総額に対する評価額の割合です。

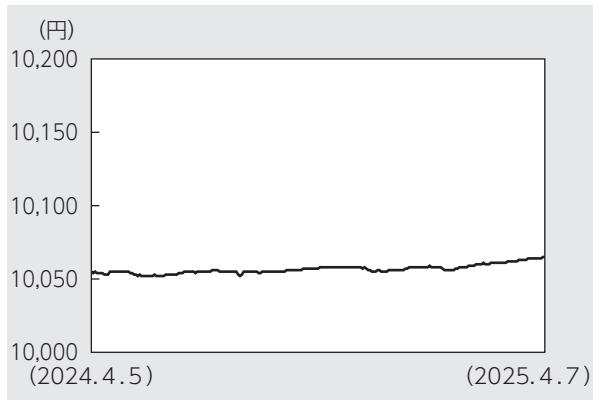
(注4) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しております。

(注5) 資産別配分、通貨別配分については、上位 8 位以下をその他の有価証券、その他の通貨に含めて集計しています。

(注6) 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIA Mマネーマザーファンド] (計算期間 2024年4月6日～2025年4月7日)

◆基準価額の推移



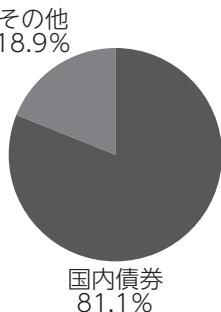
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1289回 国庫短期証券	日本・円	12.9%
1283回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1267回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1290回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1291回 国庫短期証券	日本・円	10.3
1280回 国庫短期証券	日本・円	7.7
1279回 国庫短期証券	日本・円	7.7
457回 利付国庫債券(2年)	日本・円	5.1
1261回 国庫短期証券	日本・円	2.6
1244回 国庫短期証券	日本・円	2.6
組入銘柄数		11銘柄

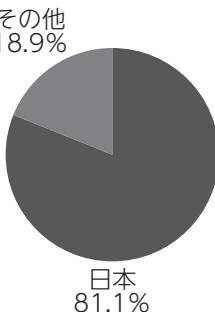
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

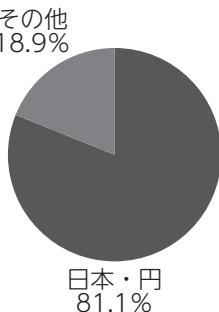
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指標の指標値および同指標にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など同指標に関するすべての権利・ノウハウおよび同指標にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指標で、日本を除く世界の主要先進国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指標で、新興国の株価指標を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指標に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指標です。同指標の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指標の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指標に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指標です。同指標に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

